

連携ツール 活用状況調査結果

令和5年3～4月実施
松山市介護保険課

連携ツールの活用状況に関するアンケート調査

【目的】 松山市の連携ツールの活用状況等を把握することで課題を明らかにし、その対応策を検討する際の資料とするため

【対象】 市内の①居宅介護支援事業所(188箇所)
②小規模多機能型居宅介護事業所(52箇所)
③地域包括支援センター(13箇所)

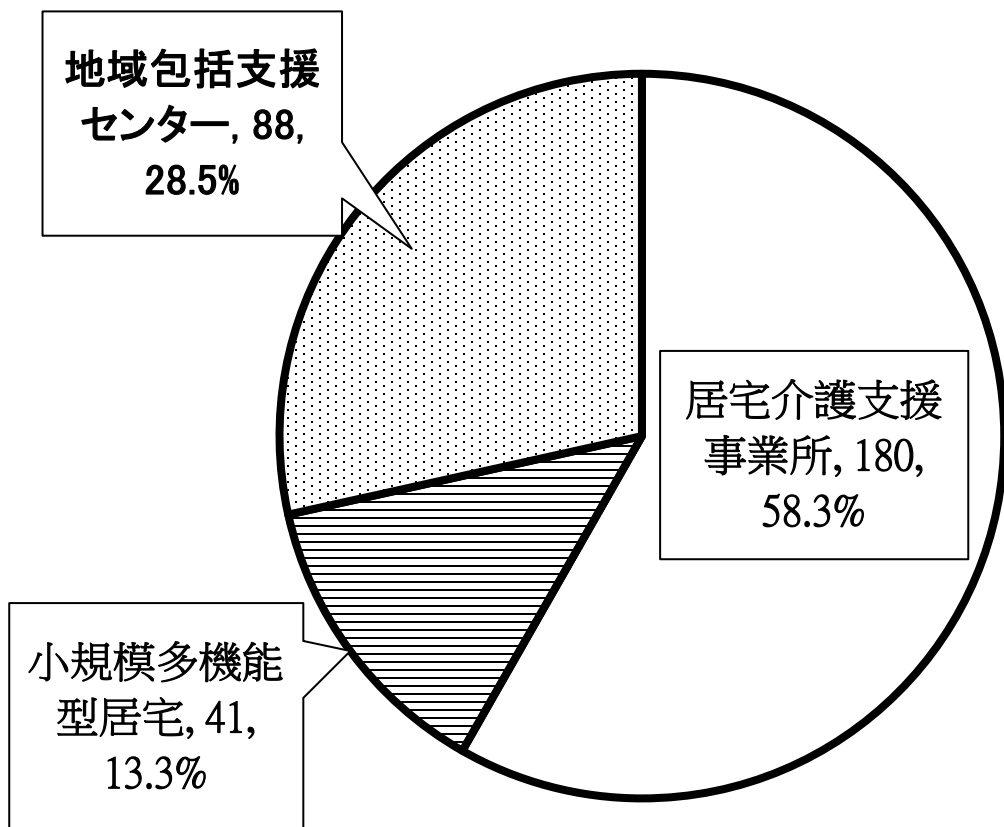
【実施時期】 令和5年3月24日～4月21日

【実施方法】 各事業所等にアンケート依頼文をメール送信し、専用のアンケートフォームにて回答

連携ツールの活用状況に関するアンケート結果1

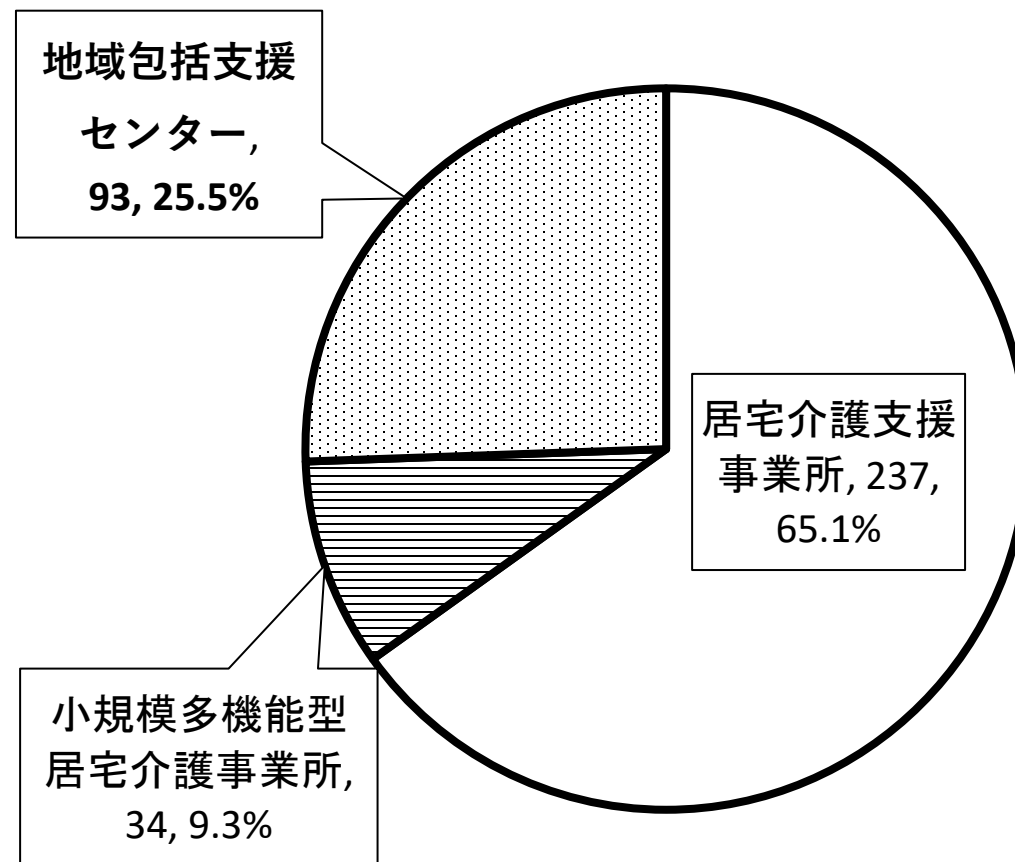
事業所内訳

【令和4年度】



(回答数:計309件)

【令和5年度】

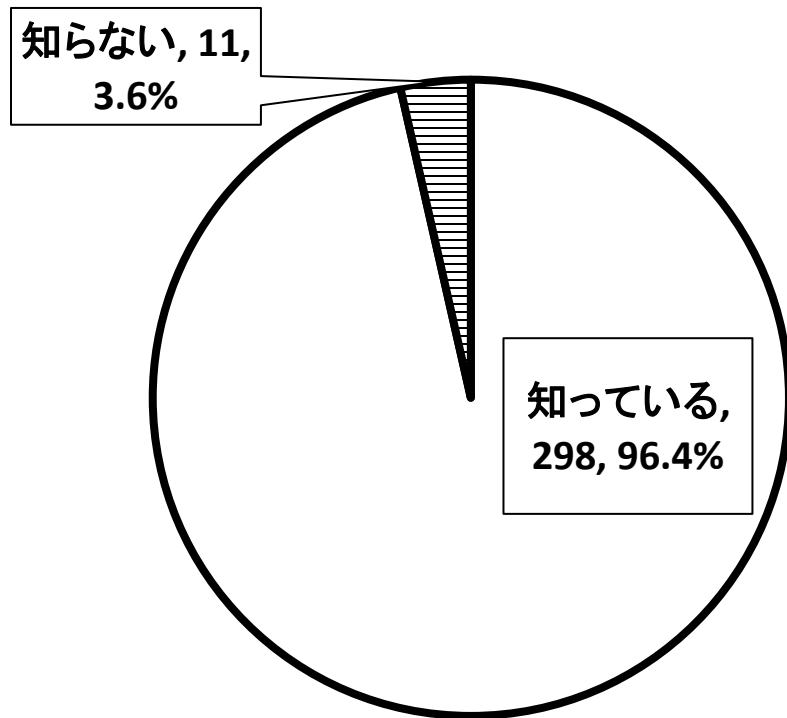


(回答数:計364件)

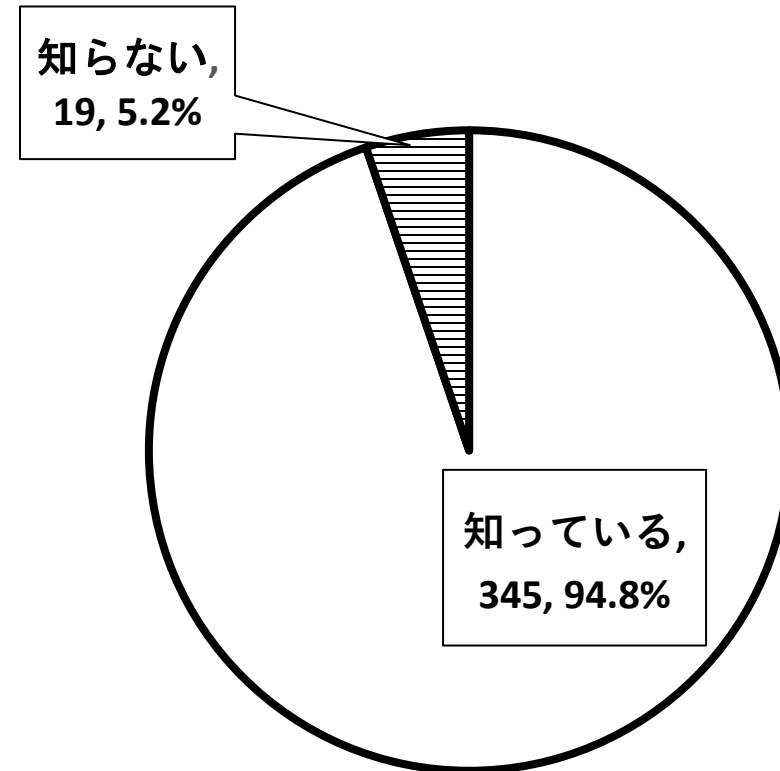
連携ツールの活用状況に関するアンケート結果2

連携ツールを知っていますか？

【令和4年度】



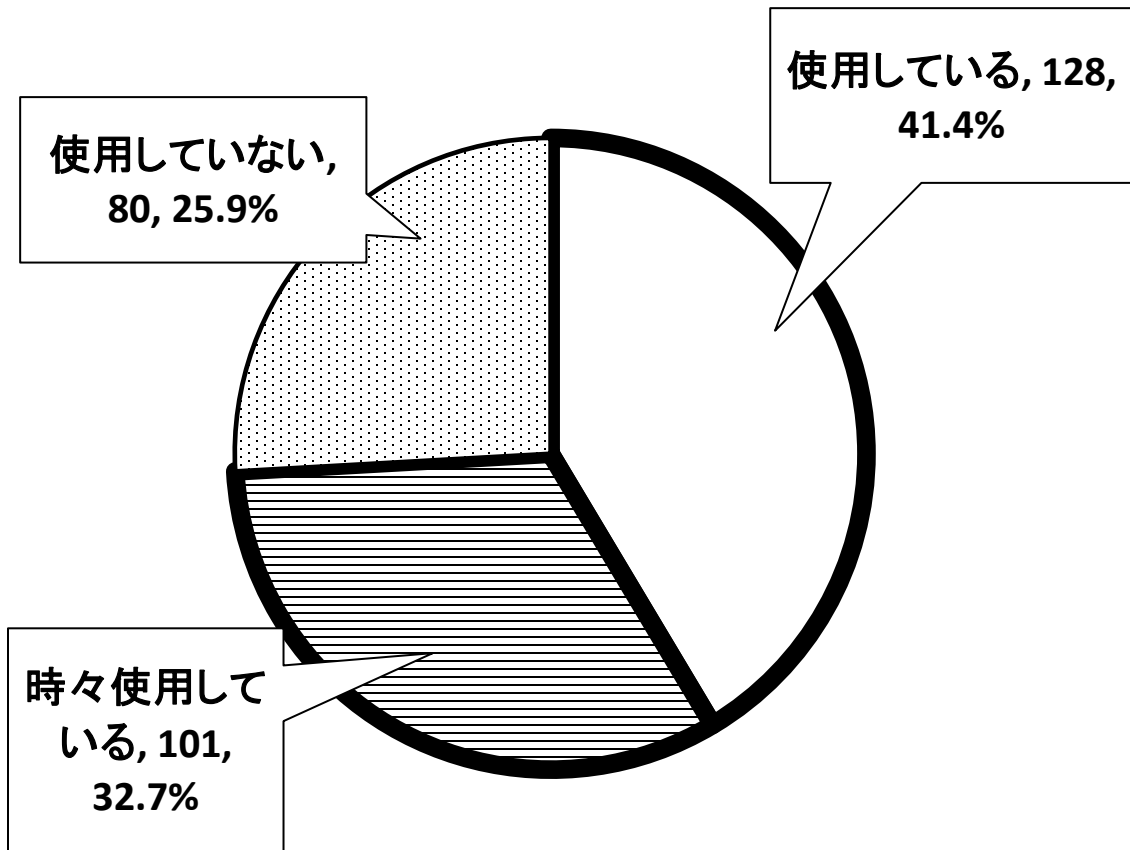
【令和5年度】



連携ツールの活用状況に関するアンケート結果3

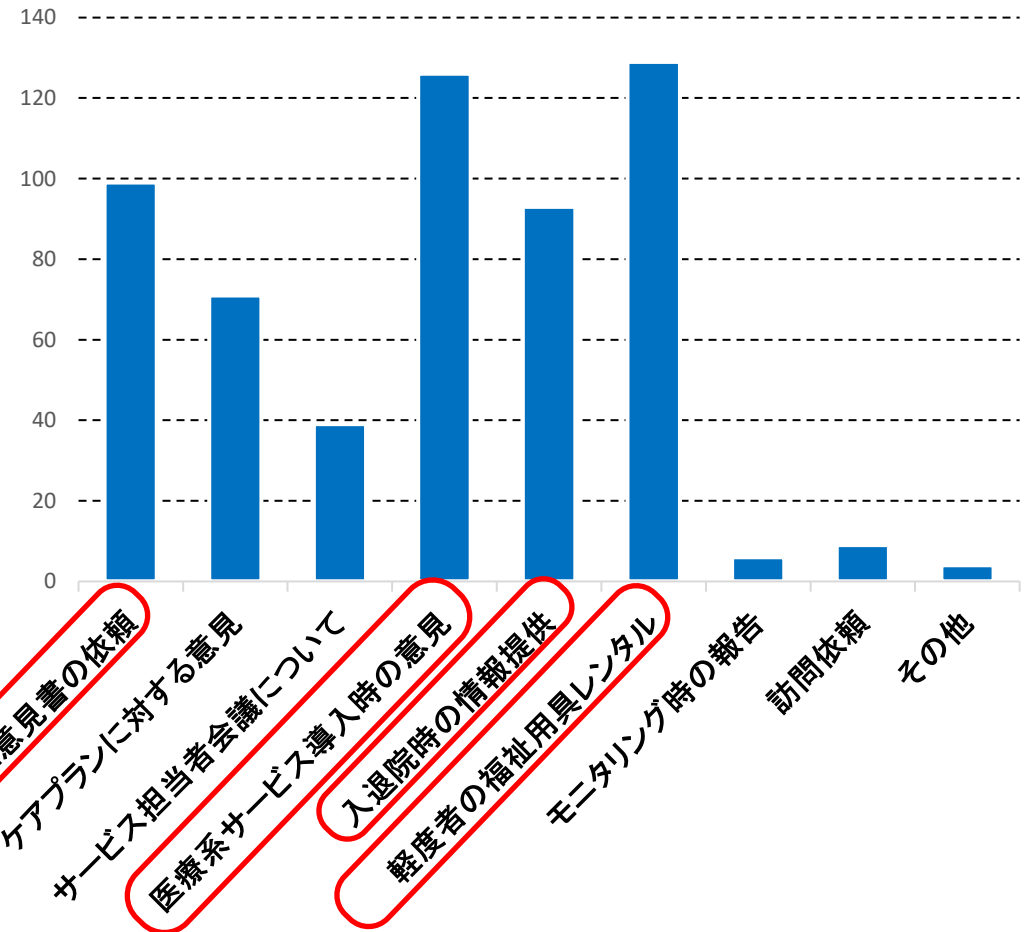
【令和4年度】

連携ツールを使用していますか？



使用の用途

(複数回答)



連携ツールの活用状況に関するアンケート結果3

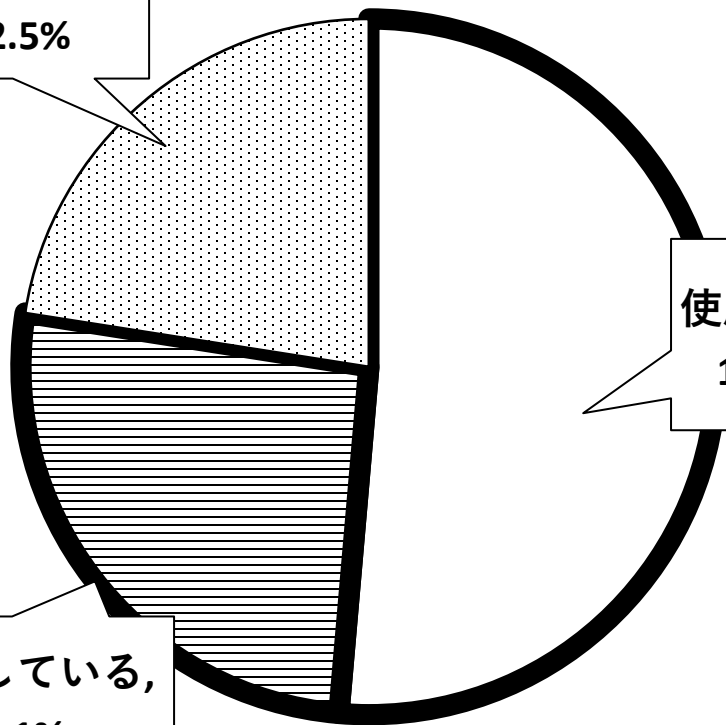
【令和5年度】

連携ツールを使用していますか？

使用していない,
82, 22.5%

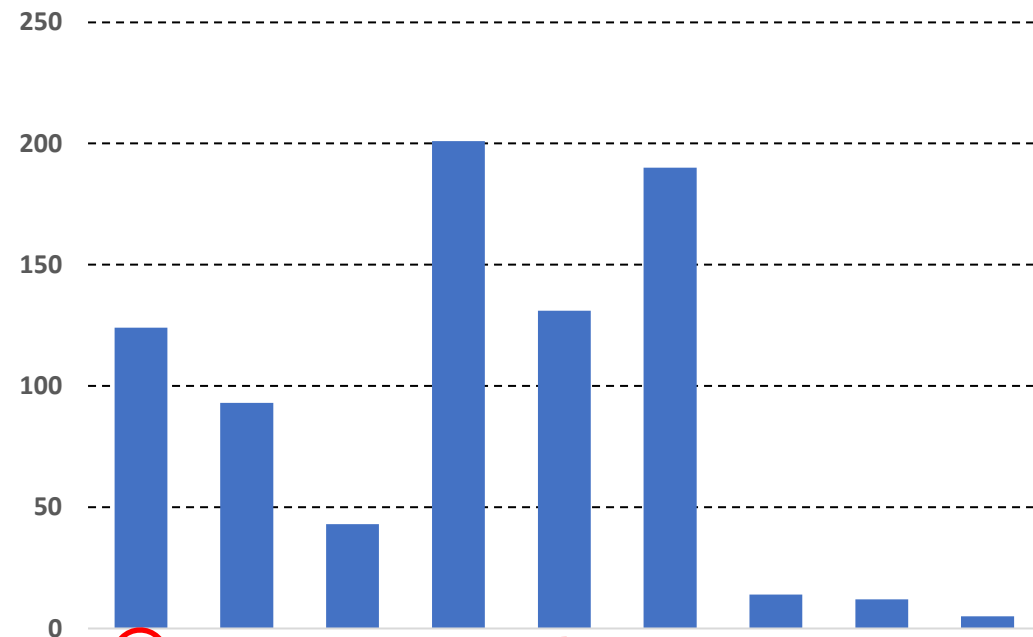
使用している,
187, 51.4%

時々使用している,
95, 26.1%



使用の用途

(複数回答)

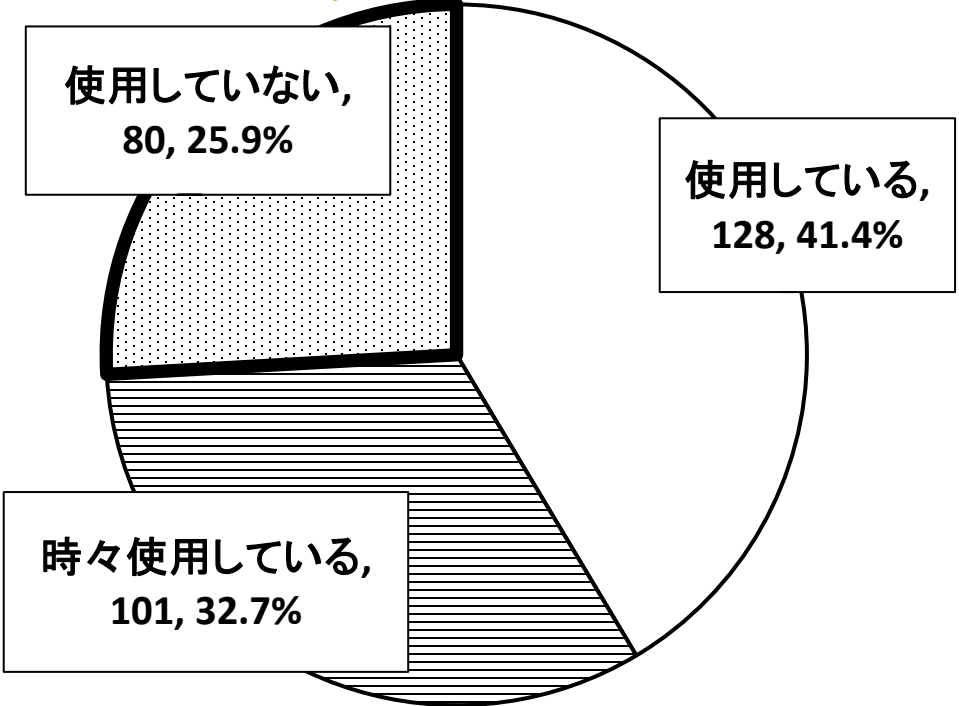


主治医意見書の依頼
ケアプランに対する意見
サービス担当者会議について
医療系サービス導入について
入退院時の情報提供
軽度者の福祉用具レンタル
モニタリング時の情報提供
訪問依頼
その他

連携ツールの活用状況に関するアンケート結果4

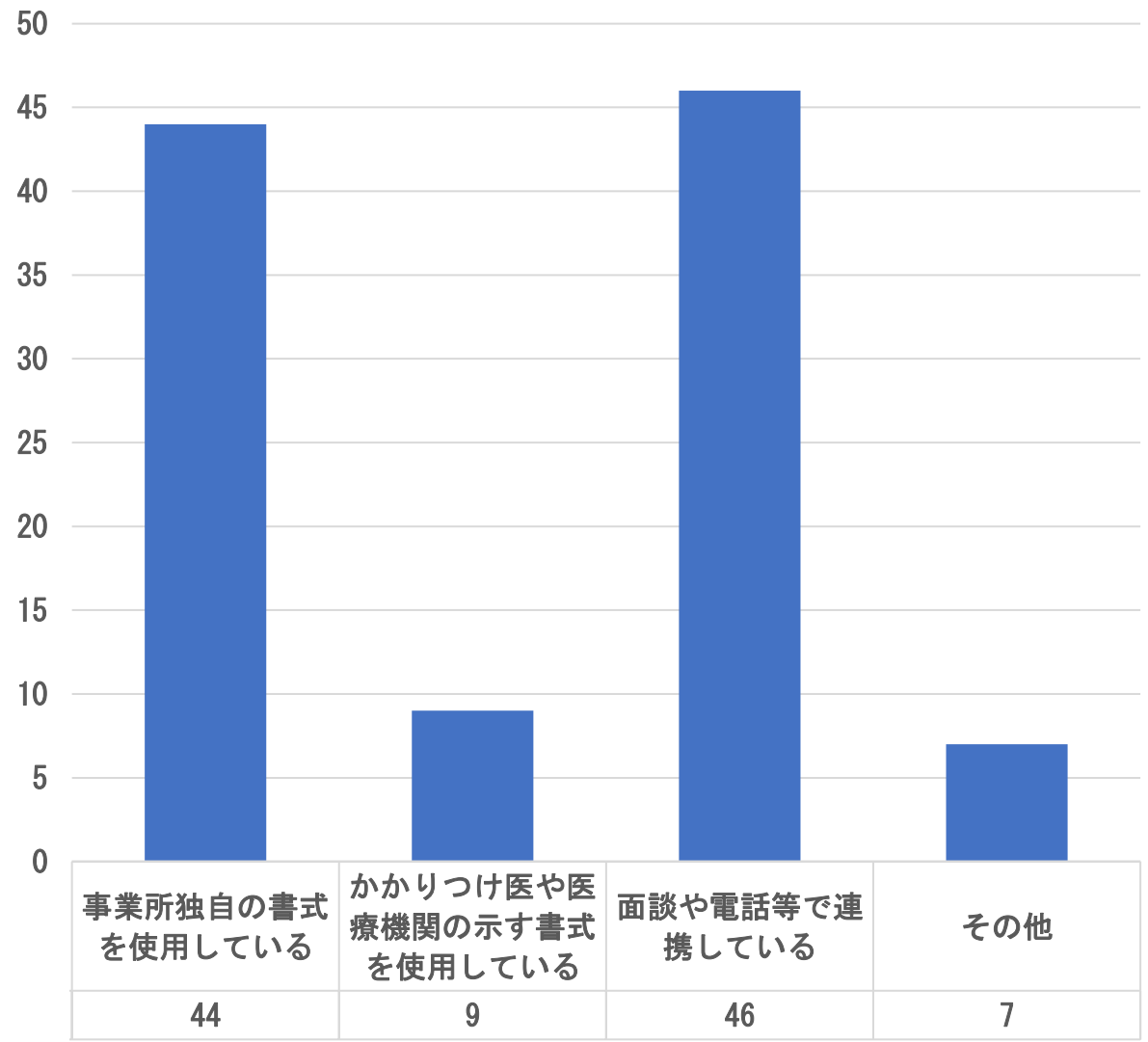
【令和4年度】

連携ツールを使用していますか？



使用していない理由

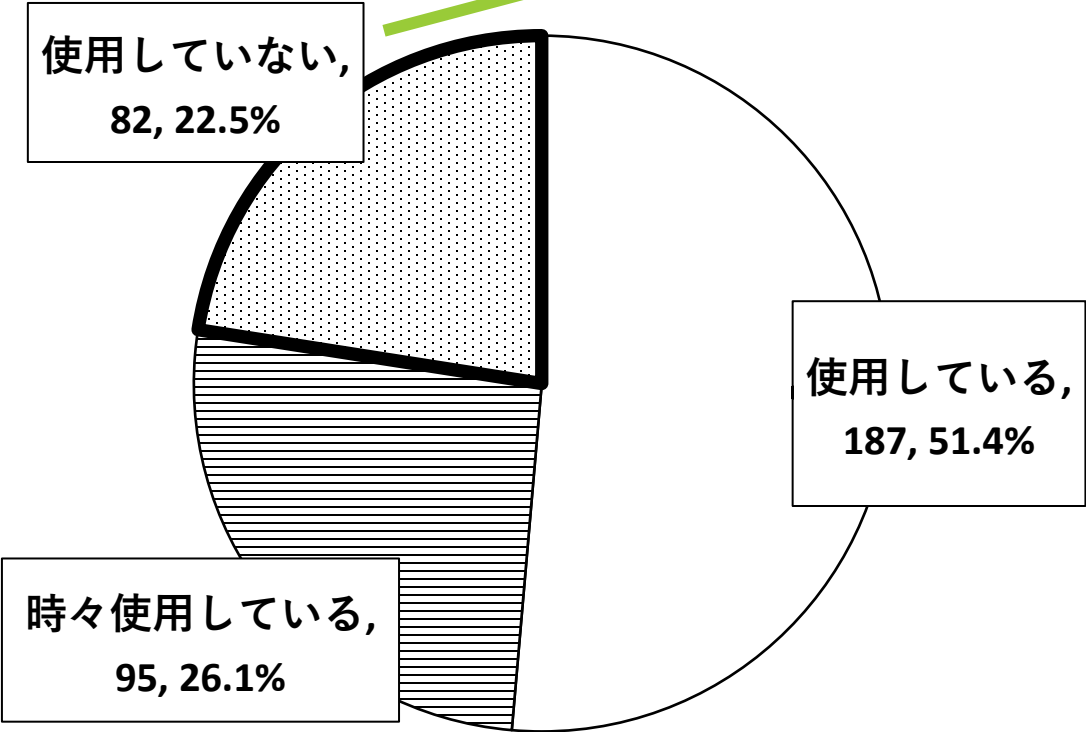
(複数回答)



連携ツールの活用状況に関するアンケート結果4

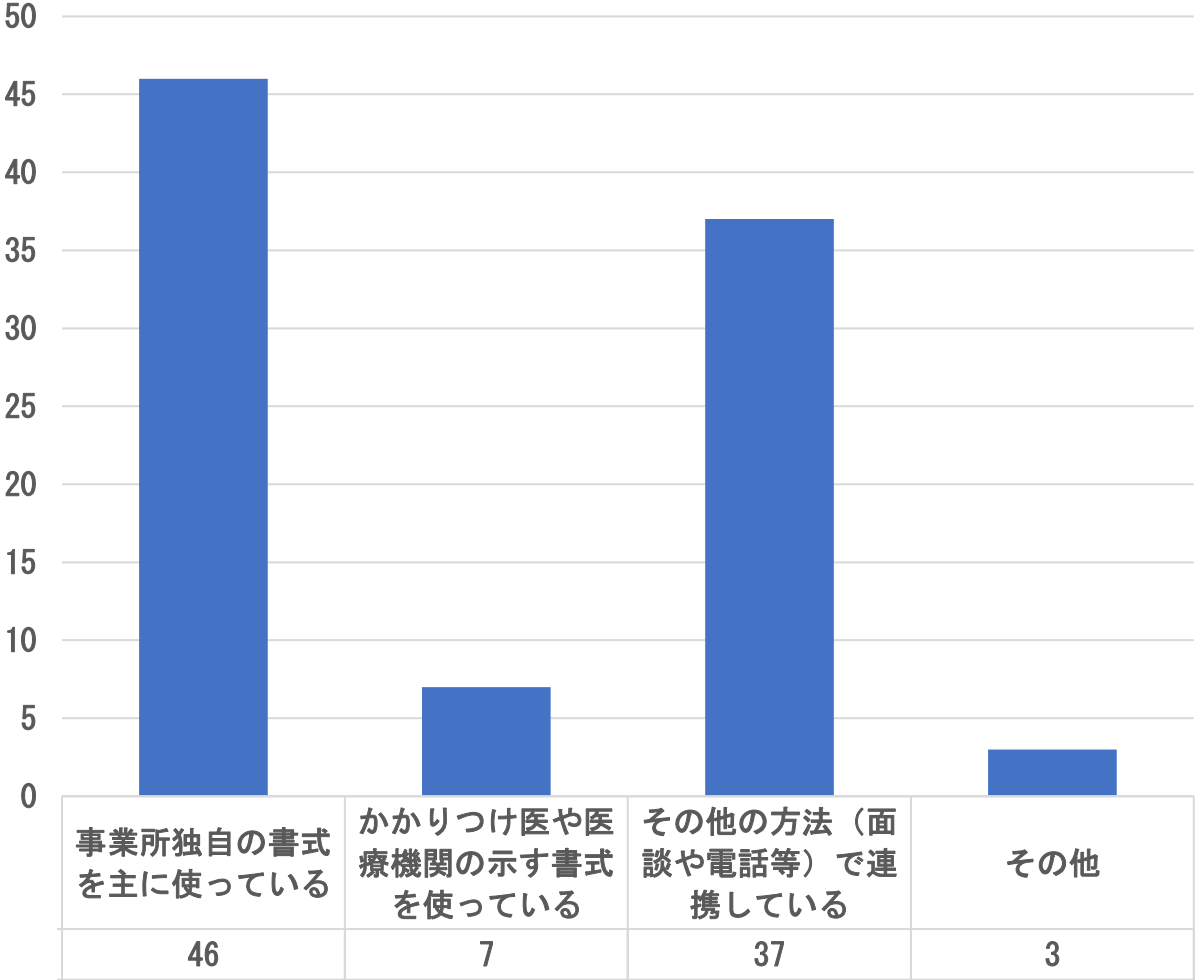
【令和5年度】

連携ツールを使用していますか？



使用していない理由

(複数回答)



連携ツールの活用状況に関するアンケート結果まとめ

- 「市の連携ツールを知っている」と回答したケアマネジャーの割合は約95%であった。
- 連携ツールを「使用している」「時々使用している」と答えたケアマネジャーの割合は77.5%と昨年度(74.1%)に比べ3.4%増加した。
- 医療系サービスの導入や軽度者福祉用具レンタル時、入退院時の情報提供や主治医意見書の依頼の際の活用が多かった。
- 連携ツールを使用していない理由は、事業所独自の書式を使用、書式以外の方法(面談や電話)で連携している、が多かった。